

ドアの防犯リフォームについて

警察庁では、昨年のガラスの防犯性能映像の公開(平成17年10月5日)に引き続き、ドア(錠)の防犯性能と対策について国民の皆さんに正しい知識をもっていただくために、ドアの種類ごとに、パールによるこじ破り実験の映像をホームページにおいて公開することとしました。

警察庁、国土交通省、経済産業省及び建物部品関連の民間団体から成る「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」(以下「官民合同会議」という。)では、[防犯建物部品目録\(www.cp-bohan.jp\)](http://www.cp-bohan.jp)に記載されている防犯建物部品の普及に努めているところですが、より多くの方々にその有効性について理解を深めていただく必要があります。

防犯性能が低い既設のドアも、補助錠として防犯建物部品の錠(CP錠)を日本ロック工業会が開発した「JLMA方式」(別添図参照)により取付けると、ドアの防犯性能が飛躍的に向上します。

また、実験では、防犯建物部品のドアに対するこじ破り実験も実施しています。

ドアの防犯性能実験映像

こちらをクリックして下さい。

撮影協力：NPO法人ポリスチャンネル
日本ロック工業会
社団法人 日本サッシ協会

注意事項

- 1 本実験で使用したドアは、それぞれの種類ごとに、最も一般的に流通しているものを選択していますが、製品により本実験よりも高い防犯性能を示すものもあります。また、実験結果は、破壊する人の体力、技術等によって異なります。
- 2 本実験の方法等につきましては、官民合同会議の試験細則に則り、同会議指定の試験員が実施しています。官民合同会議におけるこじ破り試験は、5分を上限としていますが、今回の実験では、防犯リフォームの効果を検証するため、試験員を5分で交代させ、10分までの攻撃を実施しています。ドアに関する官民合同会議の防犯性能試験では、この他、戸板(切り)破り試験を行っています。

ドアの防犯リフォーム

実験映像は、3種類のドアに対してボールによるこじ破りと、これらのドアに防犯対策を施したものに対するこじ破りの実験状況を撮影したものです。

実験 1

最も一般的に流通しているタイプの玄関、勝手口のドアです。

アパート用玄関ドア（アルミ製）

マンション用玄関ドア（スチール製）

勝手口用ドア（アルミ製）

いずれのドアも、短時間でこじ破られてしまいます。

実験 2

実験 1 で使用したドアに防犯建物部品目録 (www.cp-bohan.jp) に掲載されている防犯建物部品の錠（CP錠）を日本ロック工業会が開発した「JLMA方式」で取り付けます。

アパート用玄関ドア（アルミ製）

マンション用玄関ドア（スチール製）

勝手口用ドア（アルミ製）

錠自体が強固なつくりになっている上に、JLMAの金具がドアと錠とドア枠をつなぎ、ボールによるこじ破りに対する防犯性能を飛躍的に向上させます。また、CP錠は、ピッキングやサムターン回し等の錠を狙う他の手口にも対抗できます。

注意：この方法によるドアの防犯リフォームは、こじ破りや錠破壊、施錠開け等の手口に対しては高い防犯性能を発揮しますが、官民合同会議の防犯建物部品目録に掲載されている防犯建物部品のドアと同レベルの様々な手口に対応するものではありません。

実験 3

官民合同会議の防犯建物部品目録に掲載されている防犯建物部品のドア（CPドア）です。

防犯建物部品共同住宅玄関ドア（ドアA種）

ボールによるこじ破りや錠を狙った手口のほか、ドア本体に対する攻撃を内容とする手口など、現在の侵入犯罪において広く見られる様々な手口に対応しています。

既設ドアの防犯リフォーム (CP錠のJLMA方式による取付け)

